

議会報告会実施報告書

開催日時	令和元年 11月 24日（日） 10時00分 ～ 12時00分		
会 場	日進市民会館 小ホール・展示ホール・研修室	参加人員	82名
出席議員	全議員		

役 割 表

	担当名	氏 名		担当名	氏 名
1	司会	道家副議長	11	受付係 第2部 (緑)	水野議員
2	開会あいさつ 趣旨説明	萩野議長	12	広報係 第2部 (黄)	坂林議員
3	議会運営委員会報告者 第2部 (赤) 記録係	小野田議員 (委員 長)	13	広報係 第2部 (黄) 進行係	永野議員
4	議会運営委員会報告補佐係 第2部 (緑)	渡邊議員	14	第1部 マイク係 第2部 (赤) 記録係	古川議員
5	総務文教委員会報告者 第2部 (青) 記録係	福安議員 (委員長)	15	第1部 マイク係 第2部 (黄) 記録係	山田議員
6	福祉厚生委員会報告者 第2部 (青) 進行係	大橋議員 (委員長)	16	第1部 記録係 第2部 (黄)	ごとう議員
7	福祉厚生委員会報告補佐係 第2部 (青)	武田議員	17	第1部 記録係 第2部 (赤) 記録係	舟橋議員
8	市民建設委員会報告者 第2部 (緑) 進行係	白井議員 (委員長)	18	第2部 (黄)	青山議員
9	受付係 第2部 (緑) 記録係	大川議員	19	第2部 (赤) 記録係	宮田議員
10	受付係 第2部 (緑)	川嶋議員	20	第2部 (赤) 進行係	山根議員

責 任 者

1	総括責任者	萩野議長			
2	設営責任者	小野田議員 (議会運 営委員会委員長)	4	進行・庶務責任者	渡邊議員 (議会運 営委員会副委員長)
3	場内責任者	小野田議員 (議会運 営委員会委員長)	5	記録責任者	ごとう議員 (議会運 営委員会委員)

○報告事項に関する質問と回答

内	別添のとおり
容	

○意見交換会

内	別添のとおり
容	

令和2年1月14日

日進市議会議長 様

日進市議会報告会実施要綱第7条の規定により提出します。

記録責任者 ごとう みき 印

第9回 にっしん議会報告会

日時：令和元年11月24日（日）

午前10時～正午

会場：市民会館 小ホール

1. 開会あいさつ

2. 【第1部】委員会報告

- (1) 議会運営委員会
- (2) 総務文教委員会
- (3) 福祉厚生委員会
- (4) 市民建設委員会
- (5) 質疑応答・意見交換

— 休憩・移動 —

3. 【第2部】市民と議員の意見交換会

会場	資料に添付されたシールの色
研修室	赤色
展示ホール	青色
小ホール	黄色 ・ 緑色

4. 閉会あいさつ

全体での質疑応答

◇質問 ◆答弁 □要望・意見（参加者） ■要望・意見（議員）

◇委員会放映について

皆さんは、市民のために働くと言われていたので是非実行して欲しい。委員会放映を実施すると聞いているが、いつごろから実行することになっているのか。

◇ITC、タブレット導入について

市議会の報告のところで、タブレットのことがでていたが、これまで不自由はなかったのではないかと。なぜタブレットが必要なのか、それよりももう少し市民目線話すといい。

◇委員会の傍聴席拡大について

昨年の報告会で委員会の傍聴席の拡大をお願いした。特に、請願審査の折には、執行部側がみえなくて席が空いているので是非にと申し上げた。その検討の結果はいかがだったのか。

◆委員会放映について（議長）

委員会放映については、現在、委員会放映のための予算申請を執行部の方に上げている。予算がおり次第、来年度に実施したい。

◆ICT、タブレット導入について（議会運営委員長）

タブレットは何に使うかと言うと、情報を蓄積するということ。スピーディということでは、紙で配られると、その紙を配るためにも時間がかかる。如何にスピーディに行うかというためにタブレットを導入するという。また、予算書も何年か分のものもタブレットに集約できるということで、例えば何年前の予算書でもすぐにめくれる、そうでないといけないということでタブレットは今後必要と言うこと。

◆委員会の傍聴席拡大について（議長）

委員会での傍聴席の増設についてはご意見として拝聴させていただく。

(以上)

第2部 市民と議員の意見交換会

赤グループ (研修室)

◇質問 ◆答弁 □要望・意見 (参加者) ■要望・意見 (議員)

中間就労支援事業について

- ◇中間的就労の内容はどのようなか。日進での必要性は。実施に向けた方策として計画にのせる必要があると思う。生活困窮者だけでなく若者の就労を支える方策が必要と思いがどうか。
- ◆小田原市の包括的支援は、中間的就労支援と福祉相談窓口の二つが特徴。日進でも中間的就労事業については、取り組まなければならないと認識している。社会福祉協議会に委託をする形で障がい者支援センターに就労支援の窓口がある。この中間的就労支援は就労に結び付けるのは難しいが、難しいからこそ市はきちんと取り組む必要がある。昨年度からお金を付けているが、まだ足りない。計画はまさに地域福祉計画にどう載せていくかということになる。若者の就労は忘れないようにしないといけない。
- ◆捕捉として中間的就労支援は、年間100万ぐらいの予算をつけているが成果が見えていない現状。来年度、しっかりと若者の就労支援の位置づけをしていきたい。

ICT化について

- ◇ソロバンから電卓そしてタブレットへと変わってきている。しかし、ソロバンの良さもしっかり理解できているか。電卓はスマホで、学校の授業でタブレットをとっているが、国語科ではヒアリングでCDを使っている。生徒はロボットではない。先生と生徒とのつながりを大切にしたい。学生にもタブレットだけではどうかと思う。
- ◇そろばんから電卓、今はタブレットの時代ですよと聞こえるが、そろばんはそろばんで脳の活性化になる。今は、電卓もスマホでピッピッピッと。そろばんでもそうですね。380足す380がはい760ですよって、そういう効果がある。そろばんの効果も訴えていきたい。電卓もスマホでやる。タブレットがすべていいかというと、私は中学校で国語科にいたのですが、今は国語科でもCDを使って、聞かせてどう思うかって意見を述べさせる。やはり、タブレットだと視覚だけ、目で見ただけということになってしまう。聞くという力、タブレットだとずーっとそこばかり、じゃあどの程度聞く力が育つのか、生徒はロボットではないですし、先生とのいわゆるコミュニケーション、それがすごく大事。温かみのある、そのあたりのことはどう考えているか。

◆タブレットが 100 とは私も思っていない。計算の方法は、そろばんが最初だったと思う。その次計算尺になって、今だと電卓、そしてタブレットと、やはり時代の流れについていかなければと思う。タブレットを計算だけに使っているのではなく、この三田市も、例えば鉄棒が出来ない子、跳び箱が出来ない子、出来る子と出来ない子を、何故出来ないかということ、タブレットで写して、こうしたら跳べるよということ、タブレットを使うのは、あくまでも今後の教育のあり方、ひとつの道具としてそれを使っていくべきだと思ひ視察したわけで、決して、そろばんを否定するものではない。

□聞いていますと、今の時代はタブレットなんだよ、こういう流れで、そろばん、電卓、タブレットになった。タブレットがオールマイティーですよっていうことを感じた。タブレットの中で、運動能力がある子もない子もいる、でも一つには怪我っていうのはアレですけど、擦りむいたり身体で覚えていくことも必要だと私は考えている。ひとつの道具として使うのはよい。

◇ICT 機器の件で、子どもたちの視力がどんどん低くなってしまっているので、目に優しい対応も今後検討をしてほしい。

◆学校現場では、この ICT 機器、ゲームとかスマホに関して、ルールは作っていない。是非参考にさせていただく。

□学校教育の問題は、生徒同士が議論することがとても大切。そのことで生徒が成長していく。タブレットに任せすぎないで、いろいろなことを議論して、情報交換していくこと。情報交換がしにくくなっていることが現代の学校教育の大きな問題であって、そういうことも議論して欲しい。そういう意味では現場の先生方の意見を聞きながら、教育について進めることが大事。

タブレットのことについては、市議会の報告、委員会の報告、これは情報化しているからそういう点ではいい。使い方については、十分に検討してほしい。

道の駅について

◇道の駅についての責任者はだれか。赤字の場合はだれが責任をとるのか。今の計画の一番の売りはなにか。

◆道の駅の責任者は市長。今は建設経済部の担当部長が窓口。赤字の場合については、道の駅の反対派で一番多い意見。先ほどの委員会報告で道の駅に視察に行ったところは、指定管理。毎月 160 万円市に払うという 10 年の契約を結んでいる。赤字だろうが 160 万払うという契約。要するに、市は任せてしまえば 160 万入って来る。全部丸投げという、そういうやり方で。

日進はどうかと言うと、指定管理料は 0 だと言っている。お金はもらえませんが契約なので、それはおかしいでしょと。160 万でなくても 100 万は毎月もらえるような仕組みを考えろと、そういう提案をしている。

◇一番の売りが全くわからない。

◆一番の売りは、「皆さんが楽しめる場所にしたい」とこういう市の答え。

□私が言いたかったのは、結局、ひとつの会社みたいなものなので、赤字の場合はつぶすとか、そういった対策も考えながら検討してほしい。

◆はい、了解しました。

■道の駅が赤字ということは懸念することだが、赤字という見方をどう見るか。

例えば市民会館を黒字か赤字かとの話。これは市民のサービスをする施設。道の駅も詳細はまだ決まっていないが、物販をするだけの道の駅だけではなくて（野次：目的が福利厚生だと云ってもらえれば別にいい）、今おっしゃったように福利厚生、あるいはこの近郊の市町の防災拠点になる施設である。日進市だけが作る訳ではなく近隣の長久手、東郷、豊明を含めた何かあった時の防災拠点という複合施設であることを考えると、赤字か黒字だということも出しにくい。

◇出しにくいとあれば、利用率もあるのでは。

◆その考えはあるのだとおもう。

女性の議長について

◇日進市議会議員には現在女性の議員が7人いるが、過去において議会は女性の議長が出ていない。前回、近藤ひろき市長が市長候補に出られた時に小屋登美子市議が半年引き受けられたが、それは臨時的なものであった。

◇東郷町が、女性議長が4回目。日進は毎年、毎年、なかなか女性を推薦しない。今は平等の時代なので絶対女性が出るべき。それをどのように議員は心掛けているか。議長は保守だけで出すという考えがあるのかと思うがどうか。

◆おっしゃる通り。男性女性と必ずしも男性がやらなければならない、女性がやらなければならないということはなく、これは平等。

■議長も選挙で決まる。選挙だと、どうしても保守の方が多いのでそちらが勝つ。そうするとこれは続くので、そういうやり方ではなく、選挙以外の形で決める形にもっていくのが正しいやりかた。保守系に女性がいけないのもある。

□東郷町は4回もしている。実際に女性が。

◆議長選挙は、議長は20人の議員の記名投票で本会議場で誰を議長にするかを決める。何年か前から立候補制というのを採るようにした。私は3期目だが、9年前は誰が議長になろうとされているのかも分からないまま、名前を書かないといけないという戸惑いがあった。それは是正をされ『私が議長としてやりたい。議長になったら、こういうことをしたい』という所信表明を議員の前でスピーチをした上で、投票するようになった。そこは少し改善をされたということはお伝えをしたいと。

女性議員の比率は高いものの、女性議長は小屋さんが平成31年度1月、2月、3月の3カ月間だけで、それ以外は日進市議会史上ないというのは事実。貴重なご

意見として、また20人でそのご意見を共有したい。

- 議長を保守系がずうっとなっていくと、私たちそうじゃない方に対して平等じゃないところがある。
- 公平じゃないの声あり。
- 日進の今、市議会を見ますとね、優れた女性が沢山いる。
- 比較的、諸外国もそう。
- 議長は優秀であると同時に公平でないといけない。公平であって欲しい。

国民健康保険税について

◇国民健康保険税が4年連続値上げ。来年度こそは値下げして欲しい。

◆実は国保税は去年の4月から日進市だけでなく県全体で考えると云うシステムの大きな変更があった。今まで日進市の保険税は比較的低かったが、県内同じ水準にしていこうとの流れの中で日進市は大きく値上げせざるを得なかった。

激変緩和措置と云って、いきなり何万円も上げるのは大変なので、10年かけて少しずつ県が基準値と示す値に近づけるといいう方策を採っている。

しかし、昨年度の県の決算で70億近いお金が余ったと。こういう現実がある。値上げについては国と県の制度の転換によりこのような現象が起きている。

そして一般会計から、もっとお金を国保税に入れて国保税を安くしたらどうかというご意見もたくさんある。ただ国保税を使っている2割の人に皆さんから集めた税をどれだけ投入するのかという議論もある。個人的には「値上げをしたくない」と云うのは本当に全部の議員の考え方。けれども、国民皆保険と云う全市民が心おきなく医療に対して使っていけるといいうこの制度の下で、日進市そして議会がどう努力して税の負担を少なくしていくかが課題。

◇日進より安いところあるでしょう。(怒号)

◆県の云う基準に合わせずに低いままにいる市もある。本当に。で、1年間やってみて、日進市は県の云うことをよく聴き過ぎて、本当に県の云う通りに値上げをしたと。だけど結果、県の方の会計は70億余っている状況。こう云う状況をしっかり精査して、国保税の係の者としてしっかり話し合っていきたい。

◇国保税の問題は国民健康保険という制度の問題が欠陥と云う制度だと思う。

同じ医療保健制度でありながら、協会健保とか、その健保は事業者が半分、で本人は半分出す。国保の場合には本人負担だけ。また、国保の加入者自身も非常に収入が低い人たちが多いと。だから元々の欠陥的な制度と云うことが前提にあること考えて欲しい。税金というものは利益の再配分なので、例えば〇〇分の案件に税金を使ってもいいのかということになってしまう。

同じ理屈なのでそこに手当が必要なところに税金を投入するといいうのは行政の当たり前姿。そういう観点で考えて欲しい。

くるりんばすについて

◇議会としてどのようにお考えか。

くるりんばすが不便、ダイヤ改正が進まない、早急にして欲しい。

◆議会としてもくるりんばすが不便であると言うことを皆さま方から意見は賜っている。それを執行部の方に伝えようとしている。

◇くるりんばすのそもそもの発足が、地域の高齢者の足を確保するというのがまずは出発点。

例えば名古屋の敬老パス。それによる経済効果というものは300数十億円といわれている。これ新聞発表あった。だから高齢者が外に出て活動するというのが、地域の回復、経済の活性化に繋がる。それから高齢者の方が地域で、例えばサークル活動やボランティアやったりする。地域そのものが活性化に繋がる。

それから高齢者の方がこうして活動することから健康寿命が延びてくる。そうすると医療費の削減にも繋がる。経済効果がある。そういう観点でくるりんばすという問題を捉えてもらっているかどうかききたい。

◆私は今言われた事は新しく初めて聞いた。経済効果があるとか、そして敬老に対しての配慮の件は、議会として認識していると思っている。

◆くるりんばすは市民建設委員会でやっている。私も、路線の変更とか金額下げろとか言っているが、市の答えははっきりしている。国から補助が出ている2年間は路線や金額変更を変えられないと。じゃあ2年間、私の提案ですが無料にと。とりあえず1年間無料に。そうすると今の路線にたくさんの方が乗る。いろんな意見が出る。

今、売り上げは2千万円しかない。1年間で経費が1億5千万円掛かる。1億3千万赤字。無料にするとその2千万の売り上げはゼロになる。議員報酬を50万下げると1千万出てくる。なおかつ、市の少し財政努力で1千万出す。そうすると無料分の経費が出る。1年間で皆さんのいろんな意見を集約して1年間経った後に100円に戻してなお、路線の変更は皆さん乗っていただいた皆さんの意見を集約してやると、私の個人的な意見。

□今のはいい意見だと思う。

□みんなね、市役所に行くのを楽しみにしている。

◆現実問題として、くるりんばすは10万人利用者が減ったということが重要。

□長久手は今年4月からただに。65歳以上。それから東郷はフリーパスで65歳以上無料。日進は逆に値が上がって200円になった。乗る人も少なくなった。

それから2億予算を組んでいるんですけど、名鉄の運転手は皆若い人を使っている。お金をかけるのは当たり前。それで20分間日進駅の前で休憩をして今度は日進—赤池行を作ってる。それはもっての外だと思う。

免許返納なんか出来ない。はっきり言って。市民の本当の足になってほしい。それから名鉄を使えとおかしな話だと思う。考え直して欲しい。

◆非常に市民サイドの意見を言われた。議事録に残るのでご意見を承りたい。

◇細かい38項目にわたる改善点、当面の改善点必要だと思うところ、すべて2月22日に出してある。それは新しい議員さんは渡っているかどうか分からないが前からの議員さんは全部2月の段階でお持ちになっているはず。だから何処にどういう問題があるかはご存じだと思う。

それから、最初からくるりんばすは福祉的要素を持って生まれた。その視点を絶対外してはいけないんだと、それをかなり強く言ってきた。それが全体的、総合的に考えたら利益に繋がっていると市、全体の財政からしたらプラスに働いているはずだと。これは計算だけをやったら出てこない。高齢者が元気になって外へ出て、外へ出れば必ず経済活動に参加するわけですから、それで街が活性化されてそういう効果が必ずある。

10万人減ったと言われたが、これは9月までの半期分。半期分が再編以前に比べてどうなっているのか。これは中央線が名鉄に移ったので名鉄に移ったものは結構利用者が増えている。160%くらい。一番減ったのは、米野木線。同じ9月までで47%ですよ利用者数が。三本木線52%、岩崎線は、55%でしかも一方通行にしたでしょ。人間って、どっかに出たら必ず家に帰って来る。行ったら帰って来るルートが無いんですよ。例えば、梅森の団地でこういう話がある。以前は香久山へ買い物いくのに、行って10分帰りも10分で行けた。今、香久山行くのにどうやって行くか。梅森線をずーっと市役所まで回ってここでもう一度、梅森線に次の便に乗り換えて行って買い物をして帰って来る。3回乗る。乗継ぎ券で同じコースに乗り換えることは出来ない。そうすると600円掛かる。

こういう再編をやってどうして利用者が増えるのか。半分くらい利用者が減っている。「それは再編成やれば短期的にはそういうガタッと減ることはあるけど、そのうち回復する」と言われた方もいたが、今年で3年目だが、3年目上半期だけでもこういう実態。これが回復されていない。そういう実態を議員の皆さんはどうご覧になっているのか。早く解決して欲しいと早くやって欲しい。

例えば岩崎線の場合は、再編前からすでに区長さんまで含めて、これでは高齢者が選挙に行くにも投票所まで行けんじゃないかと。直ぐに直してほしいと言われてから3年半。何も手がついてない。議会の答弁を聞いてても令和3年度に部分改正、修正をやる全面改正を検討するのは令和6年以降と。

■令和5年ですね。

□令和5年以降に手を付け始めて正案が出来て改善までに4年かかると。冗談にもならん。解決しないで放っておいていいのか。そういう問題を市は抱えている。それに対して議員の皆さんは今回の議会で取り上げてくれる方は7名。質問拝見した。7人の方は取り上げる。また、さっきおっしゃった様に皆さん意識の中にある。だいぶね、取り上げられて来ていると思うが実態をつぶさに見て欲しい。

□この前の委員会(公共交通会議)の時に補助金とか計画を所管している県の方が、「その様な縛りはありません。」とはっきりと言われたと思う。そのことを確認し

て、是非それを議会で追究していただきたい。

- 今の縛りの問題ですが私、国交省の出先機関に行って確認して来た。別に補助金を出しているから4年間変えてはいかんってことは無いと考えている。そう度々、ごちゃごちゃ変えたらいかんけど、部分修正くらいは認められるでしょう。そのことによって補助金が削減されることはない。それ以降、私たちが確認した後は市の回答も変わってきている。今迄は補助金があるからって言ってた。回答も変わってきている。
- くるりんばす65歳以上無料化と運賃100円にもどしてほしい。それとあんな大型バスいらぬ。また、地域公共交通をもっと市民に開かれた会議にしてほしい。

スマートインターについて

- ◇ 現地に行ったが、計画される場所に新築の家が数軒ある。建てたばかりで、それが通るので取り壊し移転を求められている。こういう事態がこういうことを含めて地域の人たちの声を声に議会としてもきいてほしい。賛成、反対は別として皆さんの意見を聞き、答えられる様な行動を各議員さんに取って欲しい。
- ◆ 分かった。先ほどの件は都市計画道路が通った時には都市計画法によって建物は建ててもいいことになっているので、それは規模があったと思う。木造とか鉄骨関係だと平屋2階建てとか、ということで建ててもいいとなっている。
- そうではなくて、計画が発表される前に建てたんですよ。要は住民は知らないんですよ。知らないから市は許可を出すんですよ。まだ具体化してない。
- その通り。
- だから建てた後にこういう計画できました。どいてくださいとなっちゃってる。
- 着手の前に住民の意見とか想いを聴くのは当たり前だと思う。そのためにヒアリングとかやっていると思う。貴重な意見として執行部の方に伝える。

その他のご意見

- ◇ 赤池の渋滞問題について。153号に出るところが渋滞するので、右折信号を2重線にしてほしい。
- ◆ 国会議員、県議員、日進市が国に153号の拡幅工事をお願いしている。
- ◇ 道の駅と愛知尾東の産直の棲み分けはどうなっているのか。
- ◆ 道の駅検討委員会のスタッフの中にJA愛知も入っているので調整している。
- ◇ 議会の委員会傍聴席、一年以上前から変わっていないがどうなっているのか。
- ◆ 検討中だ。スペースがあるのは介助人が来られるようにあけてある。
- 請願のときは執行部がないので増やしてもいいのでは。

市民がすべて意見を言える会議をしてほしい。

委員会視察の報告会は日進市との比較がなくわかりづらい。行田市はよかった。

以上

第2部 市民と議員の意見交換会

青グループ (展示ホール)

◇質問 ◆答弁 □要望・意見 (参加者) ■要望・意見 (議員)

くるりんばすについて

■近藤市長は、「くるりんばすの再編を早急にやる」としている。私たちも意見を頂戴することが多い案件でもあるため、増便をする等、早急な見直しを求めている。市としても、当初予定よりも早く見直しを進めるとしている。

◇運賃についてどう考えているか。

◆前再編時に運行経費全体のバランスから見て、受益者負担の考え方を踏まえた結果である。

◇くるりんばすの再編について、議員は行政に対して、いつ働きかけるのか。

◆一般質問等で要望として伝えている。

12月議会では8名が「くるりんばす」について質問をする予定。

◇くるりんばすの見直しは何年毎か。前回の再編前も要望があったと思うが、どのように対応していたのか。

◆前回の再編前にも様々な意見を頂いたが、見直し時期としては、4年後となった。

□市議会の動きが遅い。市民も手伝うから言ってもらえれば協力する。

□くるりんばすの乗車賃を高齢者は無料にすれば介護予防になる。

□地域協働の時代だからもっと密に接してほしい。

□現在のくるりんばす反対の署名の依頼がポストに投函されていたが、このやり方はいかがなものか。

□前回のくるりんばす再編の時に考えが足らなかったのではないか。

□市内出身の声優のバス放送を流すためだけに大型バスが停車していたが、おかしくないか? 300万もかけて。

当初の市民意見を聞いたのか、国土交通省ではくるりんばす路線等見直しはいつでもできると言っていると聞いているが。議員がもっと早く動くべきだった。

くるりんばすにしても道の駅にしても市民一人一人色々な意見があるので、市民同士で意見交換をする場を設けてほしい。

くるりんばすについて近隣市町では、無料のところが多いので、日進も高齢者は無料にしてほしい。

スマートインターチェンジ、企業団地について

スマートインターと工業団地の建設では市民の意見を聞いていない。住民としては今の環境を守ってほしい、緑の美しい環境を壊してほしくない。東郷パーキングから愛知牧場、国際病院、南山エピックのルートを考え直してほしい。

スマートインター建設計画は、地元での話し合いが全体でなく、市単独で行っているのは問題ではないか。

工業団地計画の立地はとてもよいと思う。開発して緑を壊して家を建てた人たちは、緑の環境を守って下さいという権利はないのでは。

自然環境を壊す権利はない。我々に自然を返してください。

緑豊かな日進に家を建てたので、スマートインターチェンジ整備に伴う企業団地開発は東部地区の緑豊かな環境が壊れるから、止めてほしい。

議会報告会について

行政視察の報告は、パワーポイントを使って報告をしているだけ。

「これは市民のためになるというような事を行政に働きかけていきます」といったような報告をしてほしい。

茨木とか遠くの視察も良いけれど、近い市町でも参考になる所もあるので、そういった話も聞かせてほしい。市民も解かりやすいのでは。

◆各委員会等でテーマを決め、目的を持って視察先を決めている。

近いところでは小牧市にもお世話になっている。

地域の要望などみなさんからのご意見

- プライムツリーに、役所支所を出してほしい。
(市は、経費がかかるから出さないと言っているが是非検討して欲しい)
- 地域コミュニティーづくりは小学校区から、三つの地域分けとする包括支援策については、誰が責任を取るのか明確でない。推進役は誰なのか。
- ICTの推進もいいが、高い費用をかけてやるほどの効果は期待できない。
ペーパーレスにはならないし、情報の流出のリスクが高い。
- 議員提出の議案はあるのか。議案の提出をするべきである。
- 市民の豊かな生活が最優先。市民のためにもっと金を使ってほしい。

以上

第2部 市民と議員の意見交換会

黄グループ (小ホール・前)

◇質問 ◆答弁 □要望・意見 (参加者) ■要望・意見 (議員)

- 保健センターの現状と課題やスギ薬局等当市との提携存在関りを評価したい。集団検診は必要。費用対効果でも許容範囲。もっと推進してほしい。
◆評価していただき、ありがとうございます。

議会報告会、議会運営について

- 未だ議会報告会の開催自体が認知されていない。各区公民館で議員が出張報告をしてほしい。また、選挙で公約として訴えたものも報告して然るべき。
◆議会だよりと、各公共施設、回覧板で伝えているが、まだ周知が足りないという事なので全員で共有していく。
◇日進市は市民主体のまちづくりを掲げている。この報告会はその貴重な機会だが、それが年1回、しかも、2時間とは趣旨に添っているのか。
◇今後も協議していく。
◇20年後50年後の市の在り方を全議員がどのように考えているのか、議会だよりで一度、訴えてほしい。
◆20人みんなで共有していく。
◇各委員会、特に請願のあったものについて、傍聴席の拡大についてはどのように検討したのか。
◆スペースの都合で現状のままだときいている。

くるりんばすについて

- ◇□くるりんばすの公益性は図られているのか。市民アンケートを利用者に配布してほしい。また、値上がりの理由が知りたい。
◆昨年度のアンケートを現在まとめている。毎年ばすに学生が乗車して昨年まで実施していた。今年は事情があり、乗車してのアンケートはしていないがくるりんばすに対し、多くの皆さんの声が届いているので議会で追及していきたい。
◇値上がりの理由がわからない。前のように100円、せめて150円にしてほし

い。200円で喜ぶ市民は誰もいない。公益性がはかられていない。

- ◆全体で運用費用は1億7千万かかっている。料金で頂けるものは2000万円くらいで差額は皆さんで負担している。全体の受益者負担の割合は25%だったり20%がいいとの議論もあるが、少しは負担してもらっている状況。現実が高いか、安いかというのは皆さんの判断。オンデマンドが良いのかは、皆で研修に行って判断したり、行政に対して提案を共有していく。

◇くるりんばすは改編時から問題が提起され、多くの不満、要求があるのに、対応があまりにも遅い。市長の選挙時の倍増政策の実現はどのように具体化するのか。解決にかかる理由はなにか。

- ◆五色園の方は買い物難民になっていると思う。改編を行う事に対してコースによっては「良くなった」と喜ばれる、悪くなったところからは苦情が来る。市長の倍増政策は、今までの予算で改革、改編を行う考え。市長や議員が真摯に改革に向かって行けば可能性がでてきたと聞いている。通勤と福祉目的の運行シフトを別にして、例えば10時から16時までは福祉的で高齢者の方が使いやすい時間帯のシフトの提案を個人的に考えている。運輸省の許認可を得てやっているので小規模の改編はできるが大規模の改編は5年後しかできないと思う。

◇くるりんばすは大型ばかりで乗っている人も2,3人しかいない。日進市は道がせまい為、道をふさいでいて渋滞がひどくなる。中型のばすはどうか。効率性をどうみているのか、費用も抑えられていくと考える。

- ◆10人乗りくらいのオンデマンドのようなワンボックスも考えている。

□事故が最近が多い。日進は丘陵地なので高齢で免許の返納される人も多い、足が段々弱っていく、移動の足はとても大切だ。真剣に考えてほしい。

- ◆本市の最大の予算は運転手1人650万×17.2人で運行=1億何千万。一番の経費の大きいところは人権費。車は10年から12年使用できる。人件費は、毎年1億円以上かかる。台数を増やすと人件費が上がるということになる。

◇市長が倍増とっているのだから人件費はそこまで気にしなくてもいいと思う。運転手のお金をけちけちしなくてもいいと思う。市長がやるといったのならやってほしい。倍増とっているのはなにが倍増なのか。

- ◆利用者が倍増。

◇前の路線の方が利用されていた。新しい市長は見直しすると言っていた。

前の路線の方が利用者の方が多かったと思う。路線編成は誰が考えているのか。市民の足を考えての路線は全部、却下なのか。病院に行くのも乗り換え、赤池に行くのもすごく不便。新市長は見直しと言っていたのに3年は見直せないのか。

- ◆12月議会において7人の議員が質問項目で取り上げていて、今、日進市の大き

な課題となっている。法的に3年は見直せないという事はないことが、この間の議会の中で分かった。みなさんの声を代弁し政策へ提案していく。
来年度から新たにくるりんばすを考える「移動支援室」を設ける議案も出ている。

□全議員にききたい。くるりんばすの改善とスマートインターについて、財政負担、予算の必要性はどのようなか。

議員と市民とが直接くるりんばすの問題だけをテーマにして話をする場所を是非作ってほしい。これを是非、記録にして議会に諮ってほしい。

議員はこの間の選挙で、くるりんばすを良くすると言っていたので、職務としてそのような場所を設けて、市民の声を聞いてほしい。

◆補足として受け賜る。

又、他の議員にも伝えていく。

スマートインターチェンジについて

◇20人全議員が、愛知牧場付近に予定されているスマートインターの現地調査はしたのか。現地を見てどのような問題点があると思ったか。

◆全議員が現地を見たのかの件については今は答えられない。

(市民建設委員会では現地調査をした。)

□スマートインターチェンジについて、市の姿勢が酷すぎる。

パブリックコメントの多くに「ご意見として伺います」との木で鼻をくくったような回答。説明会でも市民の質問は1人1問迄。時間も制限され、議論は深まりようがない。挙句は、「市民の合意は手続き上、必要がない」との議会答弁。

しゃにむに突っ走る姿勢は民主主義の無視だ。

地域の要求等について

□岩崎橋から白山の堤防道路を早急に安全な道路にしてほしい。名古屋瀬戸道路計画の最終になっており、用地の買収はほとんど済んでいるようなので、今、危険な道路から着手してほしい。せめて先に、歩道と自転車道だけでも作ってほしい。100mもない区間の堤防道路に大型トラックも走って行く。軽自動車でも運転してあおられるのが嫌で極力通行しないようにしている。車で走行していても怖いのに歩行者や自転車の方たちが、通行するのはとても怖いと思うし、以前死亡事故もあった。

◆地区の区長さんには要望を出してないのか。

◇そういう要望を出すところがない。自治会の自治会員なので区長との直接の関わりがなく、どうすればいいのかわからない。

◆組長に伝え、自治会長に伝えもらい、自治会から土木要望を区長に持って行けば提出してもらえる。

- 西中学校は今後、生徒が増えて行く。もう1校中学校が必要だと思う。
- 保育園再整備計画が出ている。公立保育園をなくさないようにしてほしい。

子ども支援総合支援について

◇一人親家庭、不就労で引きこもりの過程、DV 過程等、くらしサポート相談が必要な家庭は、日進市にどのくらいいるのか。また、どのような対応をしているのか。

◆子育て支援総合センターに母子保健コーディネーターがいて、電話の相談や訪問の相談を受けている。去年1年間で、電話での相談が832件、面接相談783件、家庭訪問31件の相談があった。児童相談虐待防止事業は家庭相談委員2名配置している。

DV や虐待通告や学校への不登校の子や学校関係の相談件数が2,000件を超えている。学校は学校関係で、子どもに関しての保健センター等と一緒に解決できるように、直ぐには難しいかもしれないが相談は受付つけている。障がい者支援センターで引きこもりを兼ねて障がい者の就労支援への相談受付をしている。ここでは就労生活総合支援コーディネーターを配置、1年間で相談が300件以上。就労された方も何人かいるが、障がい者の対応が主で引きこもりの方だけの相談はなかった。

◇生活保護や母子、虐待家庭予想以上に日進市は多いと思った。

悩んで家庭で引きこもったりしている方たちの支援を広げてほしい。
マンパワー不足もあるのではないかと、人的な指導もしてほしい。

◆このことも共有し、より良く手を差し伸べて行けるようにしたい。

子ども家庭総合支援拠点について、警察との連携は子どもの命を守るためにも必要なもので進めてほしい。また、情報の共有をしてほしい。

◆意見としてうけたまわる。

◇「子ども家庭総合支援拠点」と既存の児童相談の関係はどうか。

◇子ども家庭総合支援窓口拠点は市直営でどこに置くのか。

◆市の「子育て支援課」が拠点。相談窓口も「子育て支援課」内にあり、児童相談員、子ども家庭支援員、虐待専門支援員がいる。

(子ども家庭支援員、虐待専門支援員の2つを兼ねる。)

ICT教育

タブレット導入 ICT 教育や積極的活用が明示されたが、そうした予算等を考えるに相当な財政、人的負担が予想される。提示の箱もの行政を一旦見直し、市民生活優先の行政に舵を切るべき。このことについては慎重に考えてほしい。

◆全議員で共有する。

□市民は、どのような問題を抱えており、どのような要望を持っているかどうかについては、全く分析されていない事に驚いた。

文教委員会報告で、教育の充実についての方針がタブレットの導入のみというの
はあまりにも乏しい。教育の専門家の意見を組織的に聞いたのか。

◆意見として総務文教委員会に伝える。

以上

第2部 市民と議員の意見交換会

緑グループ (小ホール・後)

◇質問 ◆答弁 □要望・意見 (参加者) ■要望・意見 (議員)

道の駅について

◇道の駅のマスタープランを見ると、敷地総面積2万平米に対して施設が2200㎡と、僅か11%しかない。残りの90%が駐車場だが、これは広すぎる。大型トラックが滞留することになるのではないか。

◇狭い建物の中で、どんな教育支援ができるのか。

一括運営者が教育に関心を持たなかったら、施設が使われなくなる。

◇子育て支援の施設は、本当に小さい子だけなのか、それとも小学生くらいの子が、遊べる場所なのか。この点にとっても興味がある。

そういうことが、早く情報公開されることを願っている。

◇視察先の道の駅は3年目で黒字にしたいと言っていた。日進市の試算は1年目から6500万円の黒字が出るように書いている。どう違うのか。

◇年間78万人の利用で、6500万円収益が上がるということだが、指定管理者から市に対して、いくら払われるのか。

◇収益をどのようにはじき出したか。また収益はどうなるのか。

□◇平成30年に、地権者の連名で道の駅の予定地を売却ではなく賃貸にしてほしいと要望した。議会で話し合われたか。

□道の駅いちかわは、「数年後の黒字を目指す」とのことだが、視察をして日進の計画にどう反映させるのか。また、日進市の場合、黒字になる根拠が分からない。

しっかりと議論して、本当に進むべき道なのかを、市民目線で検討してほしい。

□指定管理者が運営する道の駅いちかわは、リピーターが増えるように、カルチャーセンターを開き、毎週来場する人を増やそうと計画したが現実には厳しい。日進市もコンサルタントがまとめた表を、検証することも課題。

◆まだ指定管理者が決まっていない。スペースだけ確保されている状況である。子育て支援施設の対象はどのくらいの子までか早く知りたい。

◆通過交通から計算すると、1日2000人くらいの来場者が見込める。そこからはじき出した数字が6500万となっている。

その収益に対して、どのように支払われるかは決まっていない。

◆道の駅いちかわでは、指定管理者から毎月160万支払うと申し出があった。その結果、赤字であっても約束に従い支払われることになる。

◆(用地の賃貸でという要望について) 議会全体として取り上げたことはない。

議会について

- ◇ ネット中継など、より気軽に議会の議論を知ることができる環境が必要では。
- 常任委員会の傍聴をしようと思っても、始まりから休憩までフルで聞けない人は入れない。
- 議会報告会も東郷町のようにネット中継されると良い。
- ◆ 議会としてはネット中継ができるように、議長名で要望を出してある。
- ◆ 議会としてもネット中継をしていこうと進めているところである。

ICT教育について

- ◇ ICT教育を進めるためには、セキュリティーなどの専門知識が必要である。日進市はどのように取り組んでいるか。
- ◆ 学校では専門の業者から派遣された方の講演を聞いたり、担任から指導したりしている。最近の事例を提示し、犯罪に巻き込まれないための教育をしている。ただ、やはり家庭でしっかり取り組まないと万全なものにはなっていない。

くるりんばすについて

- 改善できるところから早く取り組んでもらいたい。
- ◇ 再編前の2017年度比21.8%マイナスの現状を、議員としてどう感じているか。
- 議員自身が改善のため、課題の整理や予算の増額など、明確な姿勢を示すべき。
- ◇ 市地域公共交通会議でも、委員から「岩崎線・米野木線・三本木線は、再編の半分程度の利用者。具体案を出さないと」という意見があった。スケジュール表は作成されているのか。
- ◇ くるりんばすについて、議員としてどう感じているか。
- ◇ □ くるりんばすができたということは、日進市は交通の便がかなり悪い。買い物にも行けない。そうしたことができるように、考えてもらいたい。
- ◇ 行田市はさほど人口が変わりない。その中で75歳以上は無料なのに損益は1億円である。日進市は、何が問題なのか。
- 行きはいいけれど帰りが困る路線がある。
- ダイヤ改正によって、不便になっている。
- そろそろ運転をやめたいと思っている方が、安心して車を手放すことができるようにしてもらいたい。
- ◇ □ 長久手市のように宝くじ号など、知恵を働かせることも大切ではないか。

- ◆高齢になったり車が運転できなくなったりすると、一気に移動範囲が狭くなってしまふ。大きな問題だと感じている。各地でさまざまな政策が取られている。徳島県では、商店街の近くに高齢者専用のマンションを建て、高齢者にとっても商店街の人々にとっても、ウインウインの成功例がある。豊田市では、乗り捨てできる一人用の車が利用されている。くるりんばすだけで、全ての人に利用しやすい状況は困難だと考える。さまざまな地域のやり方も参考にし、くるりんばすと併用してよりベストな方法を考えていきたい。
- ◆多くの意見を聞いている。だんだん不便になってきていると感じている。確かに交通手段がないと、さまざまな活動ができないし、市役所や病院などへ行けない。市も4月からの機構改革の中で専門に考える部署もできる。皆さんの意見を聞きながら、どうして行くのが良いか、議員も一緒になって考えていきたい。
- ◆改正するとき、市民の声を聞いて今の状況になったと聞いている。改正後便利になった人もいれば、不便になった人もいる。不便になった人の意見が、今多く出されていると思う。改正するとき、日進市の道は狭いため、左折だけで行けるルートを考えてと聞いている。さまざまな意見を合わせて今のルートになったと思われる。くるりんばすだけで皆さんの意見に対応しようとすると、多額の費用がかかる。豊明市や長久手市のやり方も参考に、考えていけるとよいと思う。
- ◆1億8千万円かけて3千万円の収益で行われている。毎年1億5千万の損益がある中で、バランスを考えることが必要。費用はかかっても仕方がないというのが市民の総意であれば、行政サービスとして路線を増やしていけばよいと考える。
- ◆健康な長寿になっていけるように、議会も一丸となって力になっていきたい。

「市民参加」「市民とのコミュニケーション」について

- ◇昨年多治見市議会・高山市議会を議会運営委員会が視察している。両議会でも共通していた取り組みは、「総合計画への議会の関与」と「市長の対話集会」だった。この2点について改選後の今年度、どう取り組まれたのか。特に議長・副議長は立候補表明で「市民参加」「市民とのコミュニケーション」を表明されたので、具体的に答えてもらいたい。
- ◆高山市は合併で日本一広くなった。それ故「出向いて意見を聞こうとする土壌」が生まれた。総合計画については、もう少し関与していきべきだと感じている。

スマートインターチェンジについて

- ◇建設する理由がはっきり分からない。
- ◇□朝の通勤時の渋滞が理由のひとつにあげられているが、説明が十分ではない。
- ◆少しずつ明確になってきたので、今後とも市民のために十分チェックしていく。

以上

提出された質問用紙の内容

緑グループ

◇質問 ◆答弁 □要望・意見（参加者） ■要望・意見（議員）

◇規模の似ている行田市のコミバスは 75 才以上は無料だが、日進市では 200 円と有料。何が問題か。

◆日進市では応益負担としている。今後路線見直しに向けこうした事も見直しの検討課題にはなるかと考えられる。

◇デマンドタクシーを日進市でも実現して欲しい。

◆行政も今後検討の方向でいる。

◇□くるりんばすコース変更時、なぜ市民の意見を聴かなかったのか。

現在高齢者が市役所も市民会館もいけなく困っている人が多い。

岩崎線（旧中コース）を再編してほしい。

（岩崎線は石兼を通らないので困っている）

◆市民公募の委員さんやパブリックコメントなどで市民の意見を聴いて改編している。

◇□くるりんばすの運行をよりよくする方法は。

実施時期が車をやめたい人にとって大変な課題。早急に年配者が元気に活動出来るような移動の手段を実施して欲しい。回りの人たちも皆願っている。

◆議会も行政も同意見。

◇子ども家庭総合支援拠点について詳しく知りたい。

何歳までの子どもが対象か？ 何カ所拠点をつくる予定か。

行政から対象者へアウトリーチする仕組みはどのようなか。

◆対象者は就労していない 18 才まで。要支援及び要保護児童、特定妊婦等の支援業務。市役所に 1 箇所作る。今までバラバラで支援していたのを全容の把握をし、必要な時は各関係機関から家庭訪問する。

□「子ども達の登下校時の安全を守るために」一横断歩道での歩行者優先ルールー
長野県では 58% の高率で止まる。それは「小学校での交通安全教育によるもの」

内容は、止まってくれたドライバーに一礼し、渡り終えたら振り返りもう一度礼するもの。何十年も前から行われていて、これを学んだ大人達がドライバーになり、子ども達の安全を守ってくれる。日進でも取り組みをお願いしたい。

◆良い取り組みだと思う。

◇□自衛隊が口論義公園で訓練するのは反対。

五人の議員は抗議の申し出を出した。後の15人の議員の意見をききたい。

◆詳細を存知あげないのでコメントは差し控える。

□議会、学校でタブレット導入は早急に。(ペーパーレス、効率化のため)

◆学校では既にタブレット導入済み。議会も持ち込みは認められている。

□(日進駅)駅前再整備は北口、南口にそれぞれ機能を分けて進めてほしい。

例 北口 一般車両、送迎、タクシー、二輪車、

南口 一般の路上駐車がひどいです。改善を求む。

バスターミナル化(くるりんばす、夜行バス、企業、病院などのバス送迎、名鉄バス)

- ・名鉄と市の利権にとらわれすぎる。
- ・歩行者の動線がひどく危険、特に雨の日は最悪。
- ・ロータリー中央にくるりんばすを停車させないで。

(市の担当にも申し入れたが対応してもらえない)

送迎車両がロータリー中央に停車するのも大変危険。

□駅東側の街灯が無く大変夜は暗く不安。街灯があるのに電気が付いていない。
(名鉄敷地内)

□栄のファミリーマート東溜池の通学路の安全ポールが数本も折れていて危険。
早急に対応を。

□日進の道の駅を市川市のようなトラック休憩所にさせないような対策をお願いしたい。(トラック大型は駐車禁止)

市川市は京葉道路に近く日進とは事情が違う。

八王子市滝山道の駅は地元の農産物を安く提供し大変賑わっている。

(大型トラックは入れない)

◆今後の参考意見として聞かせていただいた。

以上